

残暑の終わりを告げる? 巨大な秋の風物詩

“パンパスグラス”

**今年は猛暑のため、例年より
一週間ほど早く見頃を迎えました。**

なかなか終わりが見えない今年の残暑ですが、国営ひたち海浜公園では初秋の風物詩“パンパスグラス”が早くも見頃を迎えました。今年は、連日猛暑の日が続いたため、例年よりも一週間ほど早く穂が実りました。**理由として、暑さや水不足が続くと子孫を残すために実や種子が早く、大きく成長する習性があることや、もともとパンパスグラスは南米の原産なので、暑い気候が成長を促したと推測されます。**

一見、ススキとよく似たパンパスグラスですが、驚くのはその大きさです。大人の背をはるかに超えて4メートルにも達するその姿は“壮观”の一言。太陽の日差しを浴びて銀白色に輝く花穂の美しさとともに、通りかかる人々の目をとらえて離しません。

現在、パンパスグラスはサイクリングコース内「ぴょんぴょんサークル」において間近にご覧いただくことができます。また、「大草原北側」には花穂が桃色の“桃色パンパス”もあり、少し遅れて花穂を付けます。パンパスグラスの見頃は1ヶ月程続きますので、2種類のパンパスグラスの魅力を比べてお楽しみいただけます。



2012年8月26日撮影

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報宣伝チーム 青木・服部・和光

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

巨大な“お化けススキ” パンパスグラス

イネ科コルタデリア属の多年草
別名：シロガネヨシ
原産地：南米（ブラジル・アルゼンチン）
花言葉：光輝

見頃：9月上旬～
10月上旬

茂みを作る常緑のイネ科植物で、晩夏に銀白色の羽毛状の円錐花序（花穂）をつけます。花穂の見頃は9月上旬から10月上旬ごろまで。高さは4mに達し、大きなものは6mにも及びます。名前の由来は、英名で南米の大草原（パンパス）に生えている草（グラス）という意味です。



サイクリングコースぴょんぴょんサークル

面積：580㎡（サークル面積） 株数：10か所40株

ただ今見頃を迎えています。

サイクリングを楽しみながら、パンパスグラスを間近でご覧いただけます。



桃色パンパス



株数：49か所 196株 これから見頃を迎えます。

大草原に生えるパンパスグラスはぴょんぴょんサークルのパンパスグラスより2週間程度遅れて花穂をつけます。花穂が桃色の「桃色パンパス」という種類もあります。